

● UWFの特徴

- ・アルゴシステムの産業用PCでは、OSやデータを守るため様々な機能があり、UWFはWindowsの持つファイルシステムの保護を行う機能です。
- ・UWFを有効にするとドライブを書込み禁止にした状態で、システムを正常に動作させることが可能です。組込みデバイスでは、書込み回数に制限のあるSSDへの書込みを抑止する必要があります。UWFは、組込みデバイスにおけるOSなどのファイルシステムを保護したいという要望に対して提供されている機能です。システム運用中に誤って設定ファイルの変更がされた場合でも、再起動することによってUWFを有効にする直前の状態に戻すこともできます。
- ・UWFは、電源断によるシステムディスクの保護は行いません。UWFを有効にしても、シャットダウンさせてから電源をOFFにしてください。(UPSを併用することでシステムを保護できます。)
- ・アルゴシステム独自のUWF Config Toolで、設定の手間を削減できます。

● アルゴシステムのUWF Config Tool設定



● 注意事項

- ・UWFによるシステムメモリの消費
UWFはオーバーレイにシステムメモリを使用します。OSとUWFオーバーレイでシステムメモリを共有する構成となるため、UWFオーバーレイで消費された分だけ、OSが利用できるメモリは少なくなります。OSが必要とするメモリとUWFオーバーレイで消費するメモリの合計が搭載メモリのサイズを超えた場合のシステムの動作は保証されません。
- ・リードディスクについて
NAND FLASH ROMを使用しているストレージは、長い期間(40℃環境で約10年)が経過すると電子が抜けて、データ化けを起こす可能性があります。重要なデータはバックアップをとっておくことを推奨します。

● 対象製品

6Aシリーズ	NP6A	4A IoTシリーズ (Windows版のみ)	AP4A・APS4A・EC4A・AS4A
4Cシリーズ	NP4C・NPL4C・AS4C	4B IoTシリーズ	AP4B・APS4B・EC4B
7A IoTシリーズ	NP7A・EC7A	4A UPSシリーズ (Windows版のみ)	AP4A・APS4A・APL4A・EC4A・AS4A

このカタログに記載された製品は、予告なしに仕様・機能・デザイン等を変更する場合がありますので、ご採用の際には最新の情報を弊社及び弊社製品取扱販売店までお問い合わせください。掲載している会社名・製品名・ネットワーク名称等はそれぞれ各社・各団体の商標または登録商標です。 3030_2023年10月版